

史学委員会アジア研究・対アジア関係分科会（第25期・第1回）
議事要旨

日時：2021年1月19日（火）13:00-15:00

場所：オンライン

出席者：栗田禎子（世話人）、宇山智彦、加藤隆宏、川島真、君島和彦、久保亨、
國分典子、小嶋茂稔、坂井俊樹、下田正弘、高見澤磨、中野聡、中村元哉、
芳賀満、三重野文晴、水羽信男、三ツ井崇、桃木至朗、吉澤誠一郎

欠席：黒木英充、村上衛

議 題

1. 役員の決定
2. 今期の活動について

資 料

- ・提言書案「人文的アジア・アフリカ研究の振興に向けた現地留学支援の強化（2020年2月）
- ・公開シンポジウム「歴史認識と植民地責任」案内

冒頭、栗田禎子世話人より、定足数に達していることが確認され、分科会の開催が告げられた。

1. 自己紹介

出席者が自己紹介を行ない、本分科会への要望、問題意識などを述べた。

2. 23期、24期の活動についての情報共有

23期、24期の活動について情報共有がなされた。

3. 25期役員選出

他薦によって川島委員が委員長、栗田委員が副委員長に、下田委員、三重野委員が幹事に推挙され、それぞれ承認された。

3. 25期の活動方針について

(1) 2019年度提案について

①今期は提言書の作成を目指すこと、その際には②2014年、2017年提言を踏まえ、2020年提言を見直しつつ、内容を吟味すること、が確認された。

(2) 公開シンポジウム「歴史認識と植民地責任」の開催について

24 期に計画され、実施には至らなかった公開シンポジウム「歴史認識と植民地責任」を、25 期において実現することが承認された。

4. そのほか

(1) 特任連携会員の推薦について

齋藤明参考人を特任連携会員として推薦することが承認された。

(2) 次回委員会の日程

次回委員会は、年度内または夏休み以前に開催する。

以上